



アドボケート (advocate) とは、障害者の権利擁護のための支援・擁護・代弁する人の意味。この企画では、当事者が自ら、自分の言葉で、今の生活についての思いを発信します。

## 世界ダウン症の日キックオフイベント2019 本人発表② 歌うことが大好き！

(埼玉県 戸田 萌葉)

こんにちは戸田萌葉です。  
さいたま市から来ました。  
上尾かしの木特別支援学校高等部3年生の18歳です。\*

趣味は歌うことです。いつも歌うのはエレファントカシマシ、忌野清志郎、RCサクセション、クリーブハイプ、星野源などです。

\*発表時の年齢です。4月から久美学園互助の里というところでパンを作っています。

日本ダウン症協会代表理事・玉井邦夫と、フジテレビアナウンサー笠井信輔さんとミニトーク ▶

発表の後、「今宵の月のように」を熱唱しました！ ▶



### キックオフイベントに参加した感想

#### 本人より

楽しかったです！

「今宵の月のように」を歌えてとても気持ちよかったです。玉井理事、笠井アナ、あべけん太さんと話すことができ楽しかったです。

#### 母より

突然のことにも対応できる力が育っていると実感しました

実は、当日は対談と写真の説明だけかと勘違いしていて、1人で原稿を読んで発表するとは思っていなかったの、リハーサルでは

かなり焦りました。本番までの時間に会場の中のモスバーガーで原稿を書き、それを読んで練習しました！本番では焦ることもなく堂々と発表してミニトークもこなすことができました。突然のことにも対応できる力が備わって来ていることを実感しました。

学校を卒業し、事業所で働き出して2カ月。少しずつできることが増えて来ています。エレファントカシマシの歌の歌詞にある「転んだらそのまま胸を張れ」の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思います。

(母 戸田 孝枝)

※これまで会報に掲載してきたこのコーナーの記事を JDS のホームページですべてご覧いただけます。

トップページ上段「ダウン症のあるお子さんを授かったご家族へ」⇒「主張するセルフ・アドボケートたち」